

## いざという事態に備え、連携体制などを確認

長崎県原子力防災訓練が11月7日、本市を含む県北地域を中心に実施されました。

この訓練は、九州電力株式会社玄海原子力発電所の事故を想定し、緊急時における通信連絡体制の確立や緊急時モニタリング活動など、災害対策の習熟と防災関係機関相互における協力体制の強化を図るとともに、住民の原子力防災に対する理解を促すため毎年実施されています。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により規模を縮小し、離島での一時退避施設への退避訓練、鷹島地区住民のバスを使った集団避難や自家用車での自主避難、防災無線や緊急速報メール配信訓練を実施しました。また、検温やマスク着用、手指消毒など避難時の感染症予防対策についても同時に訓練を行いました。

このような取り組みを積み重ねていくことで、緊急時の情報伝達や避難手段などの改善を図り、万一の事態が起きた場合に的確な対応がとれるよう体制整備を行っていきます。



▲検温を受けてバスに乗り込む住民



▲災害対策本部・緊急避難本部会議



国際交流活動 in まつうら

## クリスマスカードに使える英語表現



日本では、家族やお世話になっている方へ新年に年賀状を送る習慣がありますが、海外（主に欧米、北米、南米の諸国など）では季節の挨拶状として12月にクリスマスカードを送る習慣があります。今回は、クリスマスカードに使える英語表現をALTのマーク先生に教えてもらいました。

「Season's Greetings（季節の挨拶を申し上げます）」や「Happy Holidays（素晴らしい休暇をお過ごしください）」はカードを送る相手の宗教的背景に配慮した表現です。「Best Wishes（あなたの幸せを祈っています）」は、手紙やメールなどの結びの言葉として使われる定番の表現です。

「Merry Christmas and Happy New Year（メリークリスマス、そして良いお年を）」は、書き言葉・話し言葉の両方で用いることができます。

新型コロナウイルスの影響により、海外との交流が難しい時ですが、今回紹介したメッセージを用いて、海外のお知り合いと連絡をとっていてもよいかもしれませんね。



▲子どもの頃のマーク先生のクリスマスカード

ちょっと待って!

## 住宅の建築や土地の開発を行う時は、「埋蔵文化財」の確認が必要です!!

埋蔵文化財の存在が知られている土地のことを「周知埋蔵文化財包蔵地」といいます。

◆松浦市内で、開発や工事の計画を立てるときには、まずその土地が周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の範囲内か否かを以下のいずれかの方法で確認下さい。

- ① Web 上で「長崎県遺跡地図」を見る。
- ② 市教育委員会文化財課に照会（窓口、FAX、メール）する。



周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲内で  
土地の掘削を伴う建築や土木工事を行う場合

- ◆文化財保護法の規定により、**工事着工前（工事の 60 日前）**に「埋蔵文化財発掘の届出」が**義務付け**られています。（文化財保護法 93 条第 1 項）
- ◎届出をせず、遺跡内で工事を行った場合、工事を中断していただくことがあります。



▲星鹿半島に広がる埋蔵文化財包蔵地（遺跡）  
（長崎県遺跡地図より）

**まずはご相談  
ください!**

文化財課文化財係  
〒 859-4598 松浦市志佐町里免 365  
☎ 0956-72-1111 FAX 0956-72-1115  
✉ bunkazai@city.matsuura.lg.jp



▲松浦市ホームページ  
（届出の方法・様式）

## わたしたちの郷土

～文化財は地域の宝～

### 鷹島海底遺跡調査開始 40 周年記念シリーズ⑨ 「神崎港改修工事に伴う緊急調査を実施」

平成 6～7 年度に地方港湾神崎港こうざきの防波堤工事計画に先立ち、緊急発掘調査が行われました。この調査では、木製のいかり掬が 4 門発見されました。掬は碇石いかりいしを装着していることが確認でき、元寇当時の船の研究を進める上で貴重なことでした。

その後、平成 12～14 年度にも神崎港の改修工事に伴う緊急発掘調査を実施し、元寇に関わる遺物が多数出土しています。その中には、「蒙古襲来絵詞もうこうしゅうらいえことば」に描かれている元軍の武器「てつはう」もありました。国内で「てつはう」が確認されているのは、鷹島神崎遺跡のみで重要な発見でした。

このたび、鷹島海底遺跡調査開始 40 周年を記念して、市内の菓子組合によって「てつはう」など元寇に関連するお菓子の新商品が販売されることとなりました。ぜひ店舗で現代の「てつはう」を“発掘”して下さい。「うまさ炸裂」まちがいなしです!! 次回、シリーズ⑩へ続く



▲ (上) 出土した木製掬  
(下) 「てつはう」

問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356